

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	空間構造設計規準調査小委員会		主 査 名：大森博司 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 シェル・空間構造運営委員会		委員長名：中島正愛 主 査 名：小河利行
設 置 期 間	2008 年 4 月～2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・ 目的：社団法人韓国空間構造学会附設研究所より、調査研究の委嘱「韓国国内での空間構造物に対する設計指針資料作成」を日本建築学会が受けた。このための活動をこの小委員会が中心となっていく。</p> <p>・ 活動：昨年度、11 月 27 日、韓国、ソウル、KASS 会議室にて、ETFE についての資料のまとめ方について検討を行なったが、これが本プロジェクトの最終回であった。今年度は、電子メール等により情報交換を行った。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無し 主査：大森博司 (名古屋大学) 幹事：大崎 純 (広島大学)、川口健一 (東京大学) 委員：伊藤 啓 (三菱重工業)、立道郁生 (明星大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2010 年度予算	10,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無	

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 日本及び韓国にてそれぞれ 2 回委員会を開き、展開構造関連の情報交換を行うとともに、成果物として報告書を提出した。 2. 4 年間に渡る活動を通じて、韓国国内での空間構造物に対する設計指針資料作成に寄与できたと考えている。
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. 国際的な小委員会のため各委員の委員会招集に向けての日程調整に時間を使うことが多い点が課題であった。